

【金融仲介の質の向上に向けたシンポジウム】
金融機関と地域との連携のあり方
～北海道における地域産業のイノベーションと地域金融機関の役割～



2019年3月26日



HOKUYOZAKUEN
ほくぞく仲間たち

北洋銀行の地域産業に対する取組み

1. 地域産業への取組み（過去10年）

2009年に地域産業の活性化を目的とした組織立上げ

| | | |
|-------|--------------------------|--|
| 2009年 | 「地域産業支援部」設立 | フード（農食）、観光、ものづくり分野の事業支援を通じた地域産業の活性化 |
| 2015年 | 「地方創生」（国） 「地方創生推進室」新設 | 地方版総合戦略に基づいた地方の「稼ぐ力」、「地域の総合力」の発揮 地方版総合戦略に基づき地域活性化の取組みを通じて北海道に貢献する |
| 2017年 | 中期経営計画 | 地方創生に向けた主体的な取組み（事業性評価による課題解決と北海道の成長支援） |

2. 取組内容

道内基幹産業（フード・観光・ものづくり）に対する本業支援（ビジネスマッチング＜BM＞）等を通じた地域産業の活性化

| | | |
|-------|------------------------------|---|
| フード | 1～3次産業（トータル支援） ＜販路主体の取組み＞ | 販路：国内（「インフォメーションバザール」＜東京・大阪＞等）、海外（バンコク、シカゴ・ポール等） 人材：フード分野で北海道庁等と連携（「地域フード塾」等） |
| 観光 | 観光客誘致 ＜BMと観光プロモーション＞ | 誘客：インバウンド（「VJ地方連携事業」）、国内（観光BM）、道内（観光プロモーション） 企業：観光相談会（各種ニーズ対応＜観光客入込、人材不足、消費単価引上げ等＞） |
| ものづくり | 産業振興 ＜BMとファンド＞ | 販路：「ものづくりテクノフェア」（自動車関連など時代のニーズに合わせた内容で実施） 産業：ファンド（「イノベーションファンド」、「SDGs推進ファンド」等）による支援（IT・バイオ産業等） |

3. 成果と課題

- ①**成果**：商談会を通じた道内地域の一体化推進（江別・オホーツク等）と道内企業の販路拡大支援（フード・ものづくり企業約5千社）
ファンドを通じた道内主要産業の企業育成支援（51社）
- ②**課題**：人口減少に伴うマーケット縮小 ⇒ 人口流出による労働力不足（生産性向上、人材流出防止）、物流問題等
地域活性化の取組み ⇒ 付加価値化による「稼ぐ力」の向上、観光インフラ整備による広域観光推進等

北洋銀行の今後の取組み

1. 北海道の課題と対応

①人口減少によるマーケット縮小

| | |
|-----------------------------|---|
| 生産性の向上 (労働力不足対策) | 「ものづくり補助金」を使った製造業・サービス産業の生産性向上の取組み 最近5年間実績：採択件数道内シェア34%（582件）、当行採択率51%（H30年 全国3位/122件） |
| 人材確保 (労働力不足対策) | 地域間連携による人材確保 「NAKASORAにこよう！」プロジェクト：中空知エリアの産学官金連携による地元就職の取組み |
| 物流問題 (マーケット縮小対策) | 輸送サービス低下（ドライバー不足・コストアップ）による道内物流の輸送困難化 「道の駅」等を活用した共同輸送：道北エリア（名寄）の物流実証実験 |

②地域活性化の取組み

| | |
|-------------------------------|---|
| 「稼ぐ力」の発揮 (付加価値化) | 地域製品の付加価値化による「稼ぐ力」の向上 道産素材のブランド化：食品メーカーとのコラボによる商品開発と知名度アップ |
| ものづくり産業 (IT・バイオ分野) | 創薬系企業の育成等による新たなマーケット創出（事業化による雇用・経済成長への寄与） ファンドを活用した取組み：資金+ハンズオンによる事業支援（既存ファンドによる支援実績16社） |
| 観光振興 (観光の広域化) | 観光インフラ整備（2次3次交通整備による広域化、DMOの事業化、「道の駅」の拠点化等） 「道の駅」の拠点化：食農+観光資源の一体化による観光振興 |

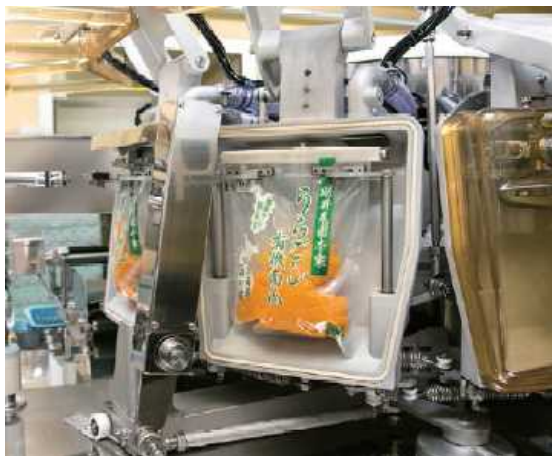
2. 課題対応の事例

- ものづくり補助金の活用事例（製造業・サービス産業）
- 「NAKASORAにこよう！」プロジェクト
- 「道の駅」等を活用した共同輸送

経済産業省「ものづくり補助金」の活用支援

株式会社みよい

自動式真空包装機の導入により1日の生産能力が約3倍に！
果物より甘い有機栽培南瓜ペーストを全国へ



ものづくり補助事業成果事例集より引用

自動式真空包装機

設備導入の効果

南瓜ペーストの製造工程

皮むき→種綿取り→小口切り→蒸し→冷却→裏ごし

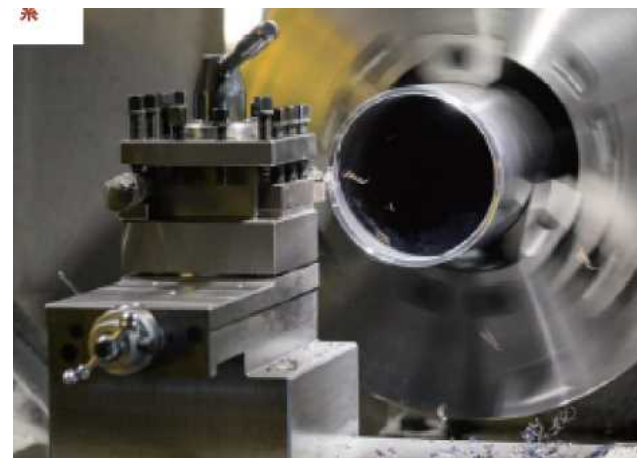
→計量→充填→真空シーラー

この工程を自動化することにより、

- ✓ 生産能力3倍向上
- ✓ 菌の発生リスク軽減 を実現

株式会社エスピー工研

高度なネジ加工技術で応用範囲を広げ
北海道の自然と向き合う現場に貢献



ものづくり補助事業成果事例集より引用

CNC普通旋盤

設備導入の効果

パイプの加工

(従来) NC旋盤と汎用旋盤+オペレータによる手動



CNC普通旋盤の導入により、

- ✓ 汎用機に比べ加工時間が1/3に短縮
- ✓ 大口径(250mm)のパイプ加工に対応可能
- ✓ 3m長尺パイプのネジ切り加工が可能

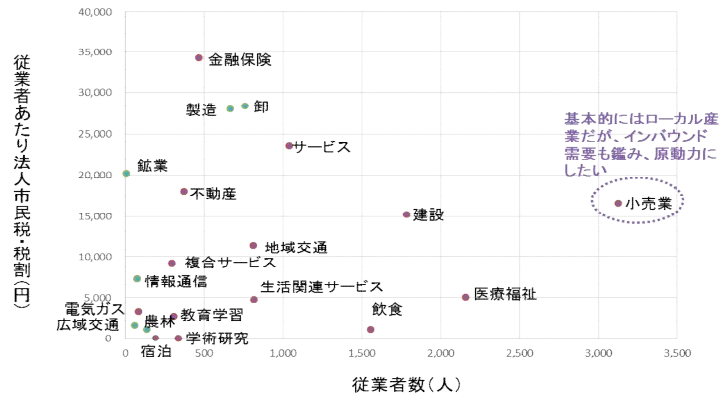
設備導入により生産性や加工精度等が大きく向上し、企業の競争力強化・他社との差別化が実現

「NAKASORAにこよう！」プロジェクト

- ILO産業分析の結果、「中空知広域連携による産業振興」の具体化に向けた事業創出事例
- 地域の構造的な人手不足対策として、① 企業と学生とのマッチング、② 企業の地力向上による魅力ある企業づくり、③ 教育現場における若者の就業観醸成 — の3つの柱で、地域連携の取組みをコーディネート

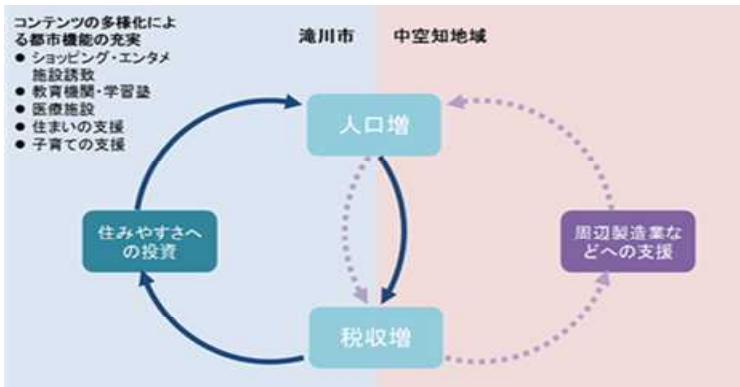
ILO産業分析を活用した成長戦略の立案

滝川市の産業別従業者数と法人市民税・税割による生産性



資料：滝川市税務統計、経済センサス

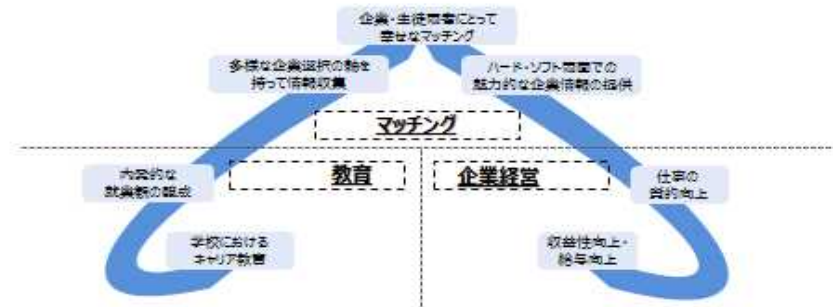
ILO産業分析に基づく経済戦略案



プロジェクト スキーム図

「NAKASORAにこよう！」プロジェクトのコンセプト

マッチング領域にとどまらず、企業の地力向上、学校教育での就業観醸成にまで踏み込んだ施策を展開



プロジェクトの一環として地方創生セミナーを開催

中空知地域の地方公共団体、企業等を対象に成長戦略の提言およびプロジェクトの説明



地方創生セミナー in 中空知
人口減少社会と企業の雇用

日時 10月11日(水) 15:00~17:30 (観覧14:30) 定員200名 参加無料

会場 マリアージュ・イン・ベルコ (滝川市大町4丁目7番38号)

プログラム

1. ILO産業分析で見える中空知の課題
* 中野知地区産業振興協議会 代表取締役 大塚 尚輝氏
2. 人口減少社会にどう向き合っていくか
* 株式会社 住友不動産 代表取締役 小坂 健彦氏
3. 質疑応答
4. 閉会

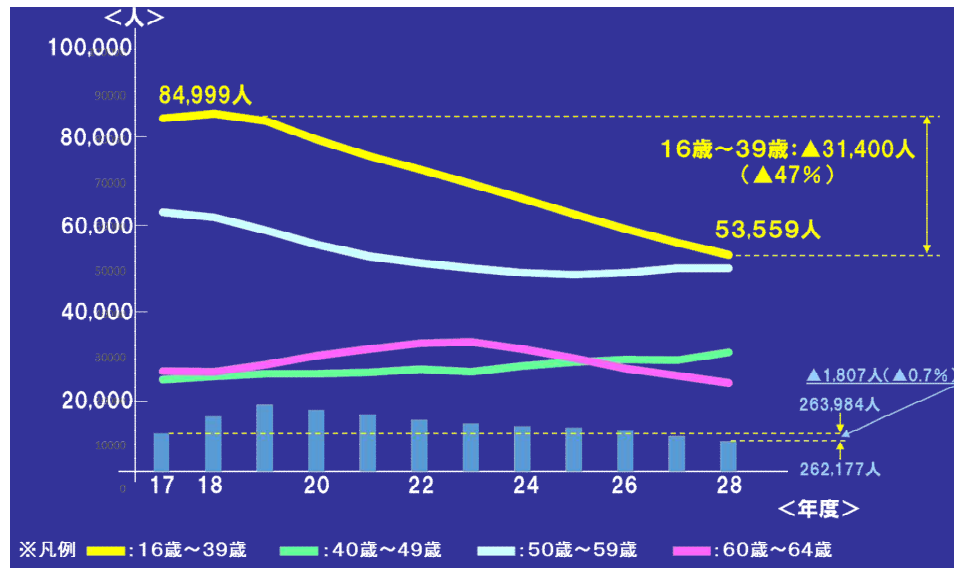
主催：中野知地区産業振興協議会、住友不動産株式会社

協賛：中野知地区産業振興協議会、住友不動産株式会社、中野知地区産業振興協議会、住友不動産株式会社

お問い合わせ：中野知地区産業振興協議会 TEL: 011-231-3063 (昼間・午後)

地域連携物流システム構築に向けた取組み

ドライバー不足・労働時間の厳格化 ➡ 輸送費上昇



このままでは、地域で生産された農産物・商品を競争力のある価格で消費地に輸送することが困難になる・・・

「道の駅」等を活用した共同輸送の提言

＝提言＝

北海道では、労働時間の規制厳格化とトラック運転手の不足により、コストアップや遅配等の問題が発生しています。そこで、貨物量の多い地域では、大手メーカー各社により共同輸送の取組等が行われています。

しかしながら、北海道の地方部では、大手メーカーや貨物量が少なく、さらに、苫小牧港や新千歳空港までの距離も長いことから、地域産業を支える小規模物流の維持が危機的状況にあり、今後、地域産業にとって深刻な問題となっていくことが予想されます。

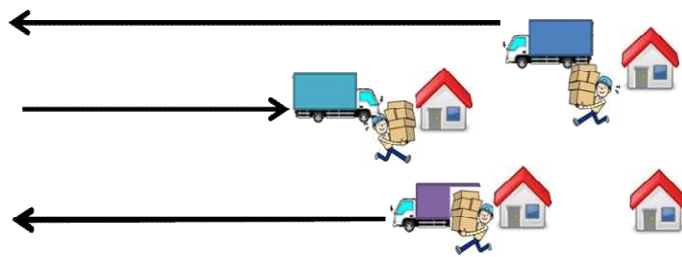
そこで我々は、3ヶ月間の検討^{*}を踏まえ、この度、北海道の地方部における地元企業を中心とした地域連携物流システム（共同輸送）の構築を提言いたします。さらに、地域住民の交流拠点となっている道の駅を拠点とすることで、ヒトやモノが集まることにより、更なる地域の活性化も期待します。

この共同輸送システムは、全国的な汎用性があり、また、道の駅という公的な場所を活用することから、関係行政機関の協力を得ながら実現する必要があります。

平成 29 年 7 月

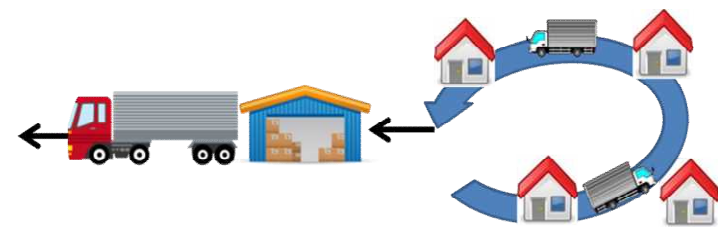
北洋銀行

●これまでの配送（タクシー）



宅配業者に集荷・配送を依頼。

●提案した配送（路線バス）



「道の駅」等に商品を集荷、保管、仕分、管理し、一括で輸送。